

地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 城西

【計画】

作成担当者：

弓指 嘉章

開催日時	平成31年02月25日 14:00 ~ 16:00	開催場所	名友町内会集会所
参加者	民生児童委員協議会 会長：4人、校区まちづくり協議会 会長：1人、有識者：1人、町内会 代表：2人、居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員：1人、医療機関 地域連携室室長：1人、鹿児島市社会福祉協議会 地域福祉支援員：1人、医療法人 理事長：1人、鹿児島大学医学部保健学科 作業療法学専攻助教/認定作業療法士：1人、鹿児島市西部保健センター 保健師：1人、地域包括支援センター 職員：10人		
	総数	24 人	
内容	テーマ	見守りについて	
	目的	地域支援ネットワークの構築、地域の課題について、地域づくり・資源開発	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合事業について ・見守り活動について 	

【結果】

開催日時	平成31年02月25日 14:00 ~ 16:00	開催場所	名友町内会集会所
参加者	民生児童委員協議会 会長：4人、校区まちづくり協議会 会長：1人、有識者：1人、町内会 代表：2人、居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員：1人、医療機関 地域連携室室長：1人、鹿児島市社会福祉協議会 地域福祉支援員：1人、医療法人 理事長：1人、鹿児島大学医学部保健学科 作業療法学専攻助教/認定作業療法士：1人、鹿児島市西部保健センター 保健師：1人、地域包括支援センター 職員：9人		
	総数	23 人	
内容	<p>これまでの会議を踏まえ、子どもから大人まで、全世代が「見守りを行う」ことへの意識付けを作るきっかけが重要であるとの内容を確認。</p> <p>見守りに換わる言葉を検討し、声掛けや目配り、気配り等の意見が得られた。しかしこれらは見守りの手段であるとの意見も同時に得られ、無理に他の言葉に換えることで個々人により解釈が変わるため、見守りという言葉のままで良い、との結論に達し、見守りということの意味を深め、共有することができた。</p> <p>その上で、4地域で、1. どんな時に出来そうか。、2. どこと連携が必要か、3. どうやって繋げるのか、について意見交換を行い、発表を行った。また、前回までの話し合いで、見守りということについて、責任を重く感じるという意見があったため、見守りに換わる言葉も含めて意見交換を行った。</p> <p>全世代に向けたきっかけ作りについては、町内会の加入率の低さ等、現高齢者の子の世代意識付けを幅広く行うことは難しいが、児童に関することであればその親も関係してくるため、多世代を繋ぐために学校やあいご会との連携と共に、教員や学校側の理解を得ることも必要であるとの意見を共有した。</p>		
	今後の課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代を繋ぐこと ・学校との連携と理解 	